

経営比較分析表（令和3年度決算）

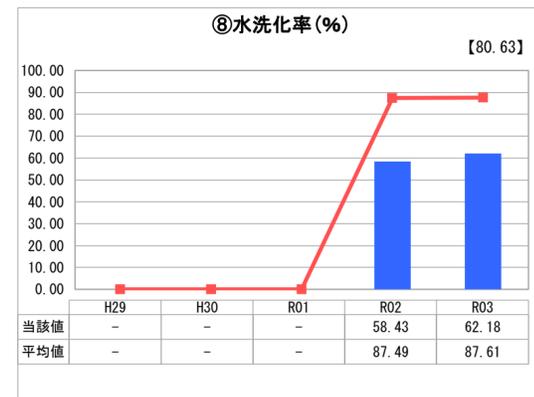
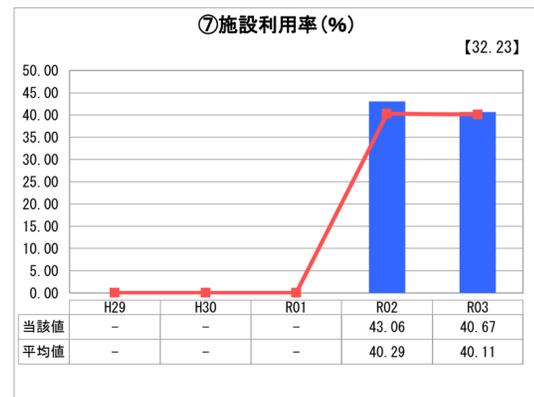
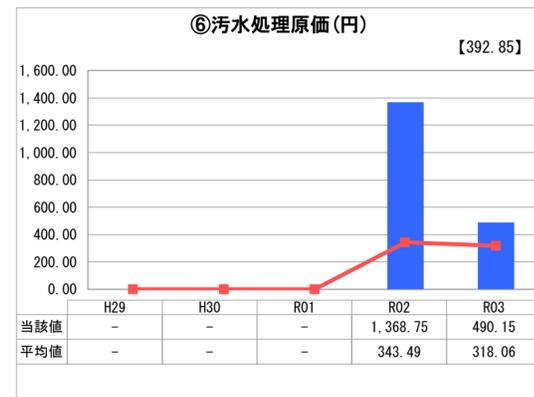
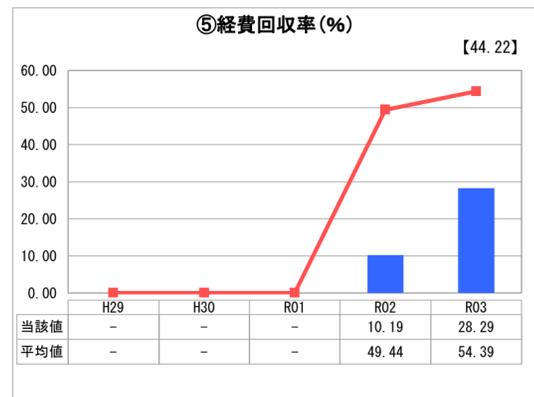
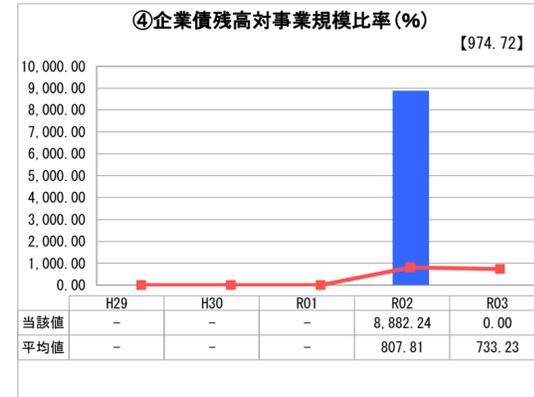
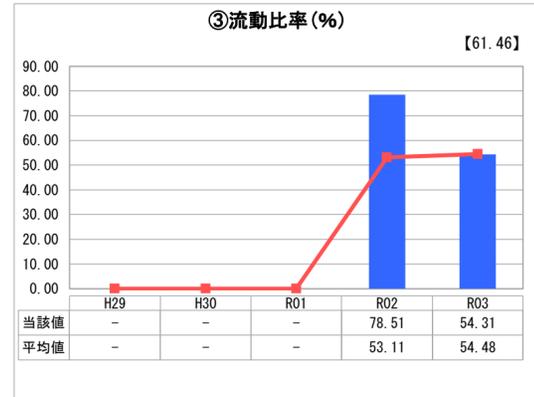
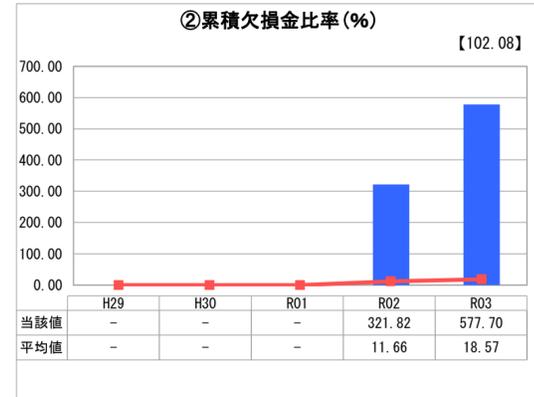
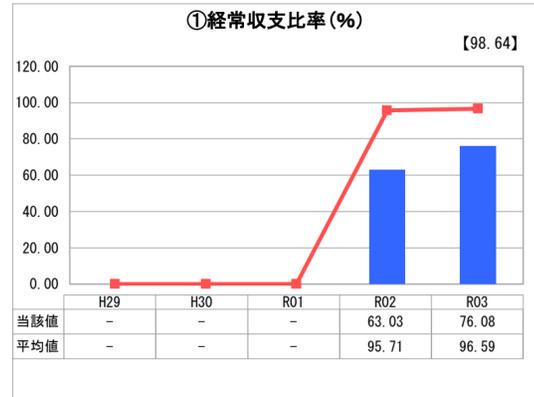
岩手県 大船渡市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	56.03	3.06	83.87	2,750

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
34,285	322.51	106.31
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,039	0.59	1,761.02

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

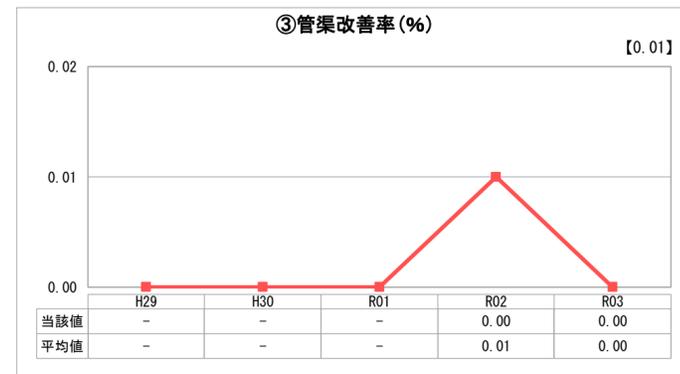
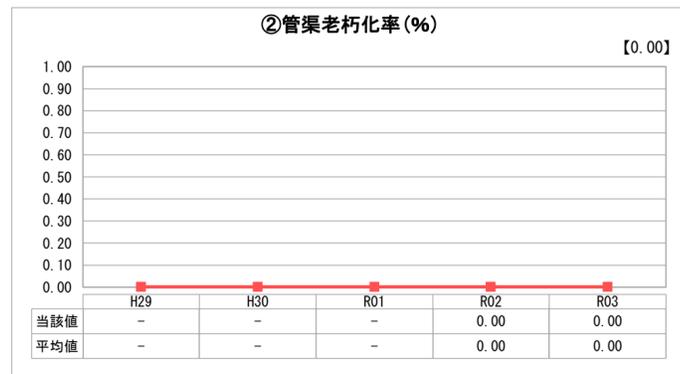
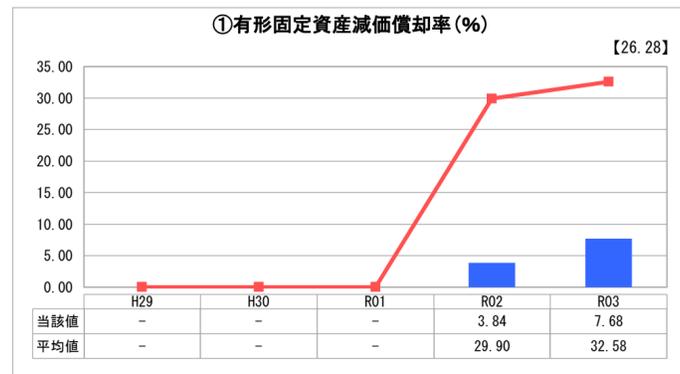
1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
一般会計からの繰入金に依存しているものの、前年度と同様100%を下回っており、赤字となっている。
- ② 累積欠損金
累積欠損金が発生しており、蓄積されている状態である。
- ③ 流動比率
100%を下回っており、1年以内に現金化できる資産で、1年以内に支払わなければならない負債を賄っていない。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
一般会計の負担により、類似団体平均値よりも低い水準となっている。
- ⑤ 経費回収率
前年度より数値は改善したものの、100%を下回っており、汚水処理にかかる経費を使用料で回収できていない。
- ⑥ 汚水処理原価
前年度より数値は改善されたものの、類似団体平均値と比較し、効率的な汚水処理が行われていない。
- ⑦ 施設利用率
供用開始から5年が経過した崎浜地区の稼働率が低いものの、類似団体平均値と同等の水準となっている。
- ⑧ 水洗化率
類似団体平均値より下回っている。特に崎浜地区の水洗化率が低い。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
現在、法定耐用年数に近い資産は少ないが、不明水流入が確認され、終末処理場の処理に支障をきたしている管渠施設もあることから、令和2年度において、漁業集落排水施設機能保全計画を策定し、施設の適切な更新及び維持管理を図っている。
- ② 管渠老朽化率
現在、管渠の老朽化は進んでいない。
- ③ 管渠改善率
管渠延長の更新は行っていない。

2. 老朽化の状況



全体総括

漁業集落排水施設のうち、最も整備年数が経過した施設は、平成元年度から供用を開始している。崎浜地区においては、平成29年度から一部供用しており、令和元年度に管渠整備を完了している。

供用区域の拡大に伴い、使用料収入の増収が見込まれるが、一般会計からの繰入金に依存しているなど、経営状況は厳しい状況の中にある。また、令和2年度に策定した漁業集落排水施設機能保全計画に基づき、老朽化施設の更新・修繕を進めることとしており、その費用に係る財源を確保する必要があることから、使用料水準の適正化と接続率向上に努めていく必要がある。

今後とも漁業集落排水事業に係るトータルコストの大幅な縮減を図り、中長期的な視点に立った事業運営に努める。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。